

真夏の思い出

なつかしい
野球 ペーロン 盆踊り 花火大会 水泳大会



水泳大会

水泳大会

最初七月二十五日の予定であったが、二十三日の豪雨災害で延期され、八月十九日夜間行なった。勝手に我流で泳いだものばかりなので、大会をやぶんだが、十三部落の参加をみたのは大成功であった。

盆踊り

青年団主催による盆踊り大会は八月十五日夜、町民広場で行われた。待ちかねたように集まって広場を埋めた。中央にやぐらを組んで、それを中心に輪を作て踊った。山口耕吾の囃なれた司会によるノド自慢も盛会で、彼のプロ歌手としての歌の助勢もどれた盆踊りをもり上げたかわからない。青年団にいわたると、「山口さんの協力は、頭をさけても、さけたりぬぼと感謝いたしております有り難うございました」と。

青年団がこの会を開くために次の奇想があった。(亀万・歌坂下ライブイン・山崎商店・松本百貨店・福田正任議員)

総合得点

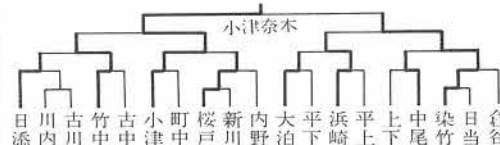
（相撲・ソフトボール・バレーボール・水泳・野球・ペ

なお、

卓球と陸上を残す。

内倉古中	大古新町桜浜染竹部
野谷中尾泊川川神戸崎竹中落名	
八二八九五一九三 八二八九五一九三	得点五九九〇七六九五五六七八五九

野球大会
(8月13、14日)



小	日	日	平	平	福	川	上
津	添	当	下	上	浦	内	下
五一	二六	一九	三一	一五	〇	二四	六五



婦人会便り

○皇居清掃奉仕 来たる十一月十日から十六日まで、婦人会員五十五人が出かける。皇居内をきれいにし、ぎしあげ、天皇皇后両陛下にお目にかかれる日をたのしみにくる日を待っている。

青年団便り

昨年度総合優勝のわれわれでもあったが、芦北・湯浦合併により、二連勝ならず、残念であった。しかし、開会式・閉会式での津奈木町連合青年団々員の態度は実に立派なものであった。外の町村団員は開会式・閉会式にも参加者が少なく、バラバラで団体組織としてゐるの姿からして、津奈木町連合青年団は競技で負けても一落まとまらぬのある青年団々体組織であった。

(大会成績)

(団体の部) 卓球一位・(陸上の部) 千五百m一位・五千m一位
走り幅とび男女二位 男子三段とび

り、果樹指導所調べ）はい、たましくも新立岡市さんを圧死させたのをはじめ、家に川に農作物等に多大の損害をあたえた。

（町報四三号詳記）

集中豪雨と
台風十九号

七月二十一日から降り出し、二十三日までつづいた豪雨（21日九ミリ、22日二六ミリ、23日一六ミリ）

注目あびる農業構造改善事業



四〇haの桑園を造成して養蚕をやる予定です。養蚕は一戸三haの桑園を持つ専業農家一戸を育成するのですが、これがもたなくなって五〇〜六〇haに伸びることを期待しています。

事業費など

総事業費四億五千七百余万元と

藁草団地は、扇形開発が請負
て、間もなく完成します。（大迫
泊の上）
春木団地は、土地改良公社がや
っていて、これも間もなく完成し
ます。
合串団地は本町の野崎土木が開
削し、これも完成間近です。
関係農道三〇〇〇米も近く完成

第一次の農業構造改善事業で、みかん栽培面積は六十六haから二倍の二三三haになり、これがきっかけて今日では三五〇haにひろがり、農家戸数も七八戸となりました。しかし一戸平均にして、三〇アールにすぎず、みかんが飯が食える農家は数える程しかありません。

第二次農構改のめざすもの

今度の第二次農構改事業では
一、栽培面積を大きくする（二戸
平均二・五ha以上）
二、近代化をより入れて生産費を
少なくする。
三、農地の集団化と経営の合理化
をはかる。
つまり十分自立経営ができる農
家を育成することが目的です。

みかん園造成

藥草岳中腹に十四ha、辻の西側（春木団地）に十六ha、合串団地六haを造成して、新甘夏を入れ、二五戸を育成します。

養蚕の振興

辻一帯（丸場・内越・八迫）に

下の写真と共に辻西側にある春木団地の開畑の進行状況をあらわしたもの。薬草団地合串団地も同様の状態。ただ辻の桑園40haが少しおかれている。



津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話 (代表115番)
編集人 岡松 壮
印刷所 緒方印刷所
八代市通町
電話(八代)② 3117番

造成の現況

します。

地主さんに感謝

今度の二次農構改事業のため、
貴重な財産をここよくおゆず
りいただいた百数十名の方に、深
い感謝をいたします。

助成区分	事業区分	事業内容	事業量	事業費	負担区分					
					国庫補助金 千円	県補助金 千円	町費 千円	自己資金 千円	公庫借入金 千円	
補助事業	土地基盤	みかん園造成	合串開畑 春木開畑 薬草開畑 6 ha 16 ha 14 ha	千円 52,420	千円 26,210	千円 10,484		千円 3,166	千円 12,560	
		桑園造成	丸場開畑 内越開畑 八迫開畑 農かんがい 14.4 ha 16.0 ha 9.6 ha 3,076 m 6 ha	102,328	51,164	20,465	6,149	24,550		
		計		154,748	77,374	30,949	9,315	37,110		
	近代化	合串 動力草刈機	2 台	260	130			30	100	
		協業施設	春木 防除施設 その他	16 ha	10,050	5,025		1,015	4,010	
			薬草 防除施設 その他	14 ha	8,190	4,095		825	3,270	
		養蚕団地造成	40 ha	66,865	33,432	5,711	5,711	4,421	17,590	
		稚蚕共同飼育施設	一式	15,442	5,786			1,946	7,710	
	経営整備	計		100,807	48,468	5,711	5,711	8,237	32,680	
		農用地管理事業	未こん地取得 農地売渡 90 ha 77 ha	11,616	7,444			2,632	1,240	
合		計		267,171	133,586	36,151	5,711	20,623	71,100	
単独農業者事業	自動車・農機具		25,560				5,120	20,440		
	農地取得	77 ha	126,243				25,253	100,990		
	植栽資金	みかん 36 ha 40 ha	38,500				7,700	30,800		
	計		190,303				38,073	152,230		
総	計		457,474	133,586	36,151	5,711	58,696	223,330		

荒滝五太夫

林田義人

いよいよ五太夫は相撲界に打って出て、とんとん拍子に進んでおもしろい力士となった。そうなる、その名はたちまち地方地方にひびき、相撲界では五太夫関を知らぬ人はいないほどになった。

丁度そのころ、郷里赤崎に帰っているときのこと。

五太夫が通端で何かしている、一人の力士がよってきて、「この村に、五太夫関という関取がいるぞ、それが本当か。」

「五太夫はいることはいるが、何か用かね。」

「おれは地方で負けたことのない関取だが、五太夫と一つ手合わせして、おれの強さを見せてやりたいと思つてきたものだ。どうぞ五太夫の家へ案内してくれないか。」



「案内はするが、どうだ五太夫ととる前に、おれと一つとてみようじゃないか。」

「それもあるう。」

と旅の力士は用意にかかった。

「案内はするが、どうだ五太夫ととる前に、おれと一つとてみようじゃないか。」

と旅の力士は用意にかかった。

「案内はするが、どうだ五太夫ととる前に、おれと一つとてみようじゃないか。」

と旅の力士は用意にかかった。

と左右三寸(約10cm)づつ肩がはみ出したほど大きかった。

毒殺。五太夫があまり強いので、関取の中にねたんで、毒殺した、あながちそうではない、と思われぬふしがある。

ある家(五太夫関の最も親しい家)、五太夫の子供のころいつも遊びに行っていた。(にある五太夫関の遺品の中に、化粧箱、その一部切ったものがあつた。その化粧箱を残すとき、

「今度おれも上つたら、生きて帰れないかもしれないから、形見のことしておく」といふた。そのお家は後になつて、現品は不明だが、近所の人(現在六十八歳)が「子供のころ遊びに行つて、何度も見たことがある」といわれるので間違ひはない。



阪大 伊藤信夫

伊藤信夫君は益夫氏の長男で、大阪大学の経済学部四年です。夏休みを利用して東南アジアに旅行をしました。先ずジャカルタに行きました。この文は南親宛に書いた手紙です。原稿が間に合わなかったため、手紙をかきました。次号からは公民館報のために書いてくれた文をのせます。

ジャカルタといふ、東南アジアでも、指折りの都市といわれていますが、僕が見たところでは人口だけはなほ多すぎるくらい多いですが、にぎやかさからすると水俣にも及びません。

ジャカルタにいたのが、くわくわとして、翌日、すぐに特急乗車してジャカルタに行きました。その車内では、戦時中日本の軍人に指導された人、偶然同車し、いよいよ軍歌を歌い、とてもたのしいでした。国民感情としては日本人に好意を持っているらしく、僕がインドネシアの民謡を歌うと、車内にいる他の人たちが寄つてきて、ニコニコ顔で聞いてくれました。同じ乗車中にいた人は公務員はた。

お札

七月二十三日の集中豪雨の災害でおおくなりになった、大泊の新立町市さんの長男貞雄さんから、本町社会福祉推進のために金一封の寄付を頂きました。

〇ヒシテ(終日)

〇パカタンクラ(馬鹿者)

〇マメカ(こまかいこと。まじめなこと)

〇ババット(うすくろいこと)

〇ハザグイ(間食)ハザラグイ

〇タマガル(おろろ、たまける)タマガラセル

〇チナム(つれだつ)チナンデカエル

〇ジャツカ(ではないか)坂本君ジャツカ

〇チヨウスル(動かないでじとして)

〇チエンスル(腰をおとして)

〇シンドカ(きつ)

〇シコ(だけ)言ワシコイワセロ

〇チヨツチ(しばらく)チヨコツ

〇タマガル(おろろ、たまける)タマガラセル

〇チナム(つれだつ)チナンデカエル

〇ジャツカ(ではないか)坂本君ジャツカ

〇チヨウスル(動かないでじとして)

〇チエンスル(腰をおとして)

〇シンドカ(きつ)

〇シコ(だけ)言ワシコイワセロ

〇チヨツチ(しばらく)チヨコツ

日本一の養蚕

阿蘇郡産山村 養蚕農業協同組合

産山村 九州横断道路と、一の宮から竹田市にゆく道路の中間、久住山(一七八八米)のふもとで大分県一の県境にある。

低いところ、矢張り山くらの高さ(六四〇米)、高いところは九八〇米の高嶺、面積は津奈木の約二倍人口は、七三〇人(津奈木の四三〇)戸数五五〇(津奈木の三分の一)農家戸数四三三(津奈木の四分の一)水田も津奈木の約二倍(三七四ha)面積が二倍を飼う経験はもたなかった。食

えない故に追いつめられて蚕飼になつたのです。

昔の養蚕とは天と地の違い

〇ハラは一切使わぬ。

〇桑は枝こや。

〇桑はぬれていても食わせる。

〇まぶしは蜂の巣状の半永久的のを用いる。

〇飼いがすべて、あらうぼく、大さじは、かんたんである。

「産山方式」の種々



〇その他

組合員が毎晩事務所の指導員を中心に研究会を開いて、次々にお互の問題点を解決している。この熱意、この執念が「産山方式」になったのである。

ある。しかし、もし、土地生産性があつて高かつたならば、規模拡大の経済効果はもとより素晴らしいものであつた。

そして、数字をあげ「全国的にみて二〇〇キログラム以上であるのに、産山は二〇キログラムしかない。」

〇その他

これらの外、津奈木が産山村より劣っているのは何一つ見出されぬ。

次の手紙をお読み下さい。養蚕を取り入れて、現金収入が増し、村の生活が明るくなり、養蚕が村の救いの神であつたことがわかります。

産山村 九州横断道路と、一の宮から竹田市にゆく道路の中間、久住山(一七八八米)のふもとで大分県一の県境にある。

低いところ、矢張り山くらの高さ(六四〇米)、高いところは九八〇米の高嶺、面積は津奈木の約二倍人口は、七三〇人(津奈木の四三〇)戸数五五〇(津奈木の三分の一)農家戸数四三三(津奈木の四分の一)水田も津奈木の約二倍(三七四ha)面積が二倍を飼う経験はもたなかった。食

えない故に追いつめられて蚕飼になつたのです。

昔の養蚕とは天と地の違い

〇ハラは一切使わぬ。

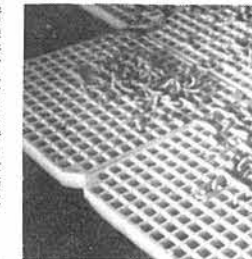
〇桑は枝こや。

〇桑はぬれていても食わせる。

〇まぶしは蜂の巣状の半永久的のを用いる。

〇飼いがすべて、あらうぼく、大さじは、かんたんである。

「産山方式」の種々



〇その他

組合員が毎晩事務所の指導員を中心に研究会を開いて、次々にお互の問題点を解決している。この熱意、この執念が「産山方式」になったのである。

ある。しかし、もし、土地生産性があつて高かつたならば、規模拡大の経済効果はもとより素晴らしいものであつた。

そして、数字をあげ「全国的にみて二〇〇キログラム以上であるのに、産山は二〇キログラムしかない。」

〇その他

これらの外、津奈木が産山村より劣っているのは何一つ見出されぬ。

次の手紙をお読み下さい。養蚕を取り入れて、現金収入が増し、村の生活が明るくなり、養蚕が村の救いの神であつたことがわかります。



〇給桑台車

飼育箱の上を自由に動かせる台車(能率急上昇)

〇台車の「くるま」

飼育箱の縁に三角レールをつけ三角レールを走らさむように二つの車をつけた。一台車ははずれぬ。

〇舟底飼育箱

平面を舟底にした。底の部分が広くなつた。

〇二段飼育

一段にする飼育面積が一倍になる。二つはわかつていても能率が悪かつたので一段でいたが、不便を研究のすえ解決して二段飼育に改めた。

諸条件、産山に勝る津奈木

1、気候

産山の年間平均気温二二度、津奈木は二〇度、産山は晩霜五月十二日、初霜十月十二日、産山より津奈木は三十五日早く桑の芽が出る。この気候の悪条件を産山は克服している。

2、土質

産山は火山灰土、津奈木は安山岩土、そのよあしは農家のみなさんが、一番よく知つていられる。桑の収量は格段の差のあることは理の当然である。

「産山村の泣き」をうけて、次のことが報告されている。

「産山村の養蚕の真価は、経営規模の大きさを根幹とした省力的技術の内発的確立によって、極めて高い労働生産性を現したことで

文芸

短歌

〇自生せるまうの花か

道の辺の茂みに白き花の一輪

〇劣果なく玉のびよふしき女の島

の甘さに婦人の熱意見えたり

寺本リヨナ

〇職業と家事の両立あきらめて

夏休み娘の夜の更けるまで

〇家庭的でないといわれて あけ

つづつとばも出でず炊事場に立つ

肥後狂句

鶴田和子

岩美会 順不同

お札

七月二十三日の集中豪雨の災害でおおくなりになった、大泊の新立町市さんの長男貞雄さんから、本町社会福祉推進のために金一封の寄付を頂きました。

〇ヒシテ(終日)

〇パカタンクラ(馬鹿者)

〇マメカ(こまかいこと。まじめなこと)

〇ババット(うすくろいこと)

〇ハザグイ(間食)ハザラグイ

〇タマガル(おろろ、たまける)タマガラセル

〇チナム(つれだつ)チナンデカエル

〇ジャツカ(ではないか)坂本君ジャツカ

〇チヨウスル(動かないでじとして)

〇チエンスル(腰をおとして)

〇シンドカ(きつ)

〇シコ(だけ)言ワシコイワセロ

〇チヨツチ(しばらく)チヨコツ

〇タマガル(おろろ、たまける)タマガラセル

〇チナム(つれだつ)チナンデカエル

〇ジャツカ(ではないか)坂本君ジャツカ

〇チヨウスル(動かないでじとして)

〇チエンスル(腰をおとして)

〇シンドカ(きつ)

〇シコ(だけ)言ワシコイワセロ

〇チヨツチ(しばらく)チヨコツ